

憲法しんぶん 速報版
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2019年11月15日 (金)

NO. 1013号

本号3頁

衆院憲法審査会、14日開催される!

欧州視察報告に関する「自由討議」として、1時間

衆院憲法審査会が14日開催され、前回に続き欧州視察報告に関する「自由討議」が行われました。

自民党の船田元氏が憲法に限らない一般国民投票について「ぜひ議論を進めていただきたい」と提案しました。公明党の浜地雅一氏は「憲法裁判所などの設置について検討すべき課題がある」と述べました。一方、共産党の本村伸子氏は、愛知トリエンナーレ問題に触れ、「憲法が踏みにじられている現実には予算委員会でも徹底論議が必要。憲法審査会を動かすべきでない」と発言。また、社民党の照屋寛徳氏も、国民が求めているなどとして、憲法審開催に反対しました。

維新の会の馬場伸幸氏は、山尾志桜里氏は前回の自由討議で「手続き（国民投票法改正案）の議論と合わせ、憲法の中身に入るべきだ」と発言したことに、立憲民主党は改憲に慎重だが、「党を背負っての発言と解するが、見解を」と迫りました。これに対し、立憲の山花郁夫・野党筆頭幹事は「党の立場を離れて自由闊達な意見を、というのが自由討議だと承知しており、(山尾氏)個人としての発言と認識している」と釈明しました。また、山尾氏自身は「よほど党の公的見解と違うならともかく、一定の幅の範囲で正しいことを言う限りは、発言の権利は保障される」と述べました。

審査会に先立つ幹事会で、与党側は国民投票法改正案の質疑・採決を来週行うことを提案しましたが、野党側はテレビCM規制の審議を先行させることを求めており、折り合いがつかないままです。会期末まで衆参憲法審の定例会が各3回となりました。マスコミも「改正案の今国会での成立は見通せない状況だ」と報道しています。

自民党の佐藤勉憲法審査会長は終了後、記者団に「視察報告に対する自由討議は今日で終わりということだ」と述べ、自由討議の継続などを求めている野党側をけん制し、次回については「国民投票法（改正案の審議）が前提に来るのではないかと述べました。

安倍改憲許さないと、次々と署名 憲法共同センター署名行動

憲法共同センターは11日、新宿駅西口で安倍政権が狙う9条改憲を許すなど、3000万署名の街頭宣伝を行いました。駅前を通る人々が次々と足を止め、3000万人署名に応じていました。

マイクを握って訴えた日本共産党の本村伸子衆院議員は、安倍首相主催の「桜を見る会」に、首相の後援会員が多数招待されていると追及した8日の田村智子副委員長の質問を紹介し、「不公正な首相による改憲などダメだ、と声を上げましょう」と呼びかけました。

また、全労連の小田川議長は、臨時国会への自民党の改憲案提示を阻止できるかどうか、事態は緊迫していると指摘。先月に2人の大臣が辞任したことに触れ、「腐敗した安倍政権に憲法を変える資格はない」と訴えました。

全国革新懇代表世話人の杉井静子弁護士は、女性や子どもの貧困が放置されている日本の実態を述べ、「憲法の理念に反する、国民いじめの政治こそ変えよう」と訴えました。

署名に応じた男性は、「憲法を変え、まるで戦前に戻ろうとするよう



な安倍政権は許せない。消費税を上げる一方、後援会員は税金で接待するなど、勝手なやり方は目に余る。共産党など野党に頑張ってもらいたい」と話しました。

これは許されない!!「桜を見る会」税金・政治の私物化

日本共産党の田村智子議員は8日の参院予算委員会で、「安倍内閣のモラルハザード(倫理の崩壊)は安倍首相が起こしている」と、安倍首相主催の「桜を見る会」に安倍首相や閣僚らが地元後援会員を多数招待していた問題を追及しました。安倍首相は質問に答えられず、審議はたびたびストップ。安倍首相が先頭にたつて公的行事・税金を私物化している疑惑が深まりました。

「桜を見る会」の参加者数・支出額は安倍政権になってから年々増え続け、2019年の支出額は予算額の3倍にもなっています。田村氏は、各界で「功労・功績のある方」を各府省が推薦するとしながら、自民党議員・閣僚の後援会・支持者が多数招待されていると指摘。安倍首相の地元・山口県の友田有県議のブログ記事では、“後援会女性部の7人と同行”“ホテルから貸し切りバスで会場に移動”などの内容が記されていると明らかにしました。

田村氏は「安倍首相の地元後援会のみなさんを多数招待している」「友田県議、後援会女性部はどういう功労が認められたのか」とたどりました。

安倍首相は答弁に立てず、内閣府官房長が「具体的な招待者の推薦にかかる書類は、保存期間1年未満の文書として廃棄している」と答弁しました。田村氏は「検証ができない状態ではないか」と厳しく批判しました。

田村氏は「安倍事務所に参加を申し込んだら、内閣府から招待状がきた」という下関の後援会員の「赤旗」への証言を紹介。「下関の後援会員の名前と住所をどの府省がおさえられたのか。安倍事務所がとりまとめたとした考えられない」とたどりました。



さらに田村氏は、友田県議や吉田真次下関市議のブログに、「桜を見る会」とあわせて安倍首相夫妻を囲んだ「安倍晋三後援会 桜を見る会前夜祭」の850人参加の盛大なパーティーの様子が紹介されていると指摘。さらに、翌朝には貸し切りバス17台に分乗して新宿御苑に向かったとの記載があることを指摘し「桜を見る会が『安倍首相後援会・桜を見る会前夜祭』とセットになっているんじゃないか」「まさに後援会活動そのものだ」と追及しました。

安倍首相は「お答えを差し控える」と答弁を拒否し、議場は騒然。田村氏は「桜を見る会は参加費無料でアルコールなどをふるまう。政治家が自分のお金でやれば明らかな公職選挙法違反だ。こういうことを公的行事と税金を利用して行っていることは重大問題だ」と強く訴えました。

さらに、田村氏は11日、記者団に「首相が桜を見る会を後援会の一大行事に位置付けてきたのは、客観的な情報で確定だろう」と指摘しました。立憲民主、国民民主、共産の野党三党の国対委員長は同日、国会内で会談。追及チームを12日に設置し、首相の一連の動きが政治資金規正法や公選法などに従って行われているか調査していく方針を確認しました。

遂に、13日、政府は来年度の「桜を見る会」を中止し、招待基準の見直しを行い、再来年から再開すると発表しました。しかし、問題は山積みです、徹底して解明すべきです。

各地のとくみ

福岡 改憲阻止の世論を広げようと3時間のロングラン宣伝行動

3000万人署名で改憲阻止の世論を広げようと、北九州憲法共同センターは9日、北九州市のJR小倉駅前でも3時間のロングラン宣伝を行いました。労働組合員や女性、弁護士などのべ61人が参加しました。日本共産党の田村貴昭衆院議員も駆けつけ訴えました。

駅利用者が次々と署名。小学校2年生で終戦を迎えたという男性(81)は、「当時は食べ物がなく何でも配給制。腐って捨てられた芋まで食べていた。平和が続いているのだから9条は守らなければいけない」と語りました。

学生たちからも共感の声が寄せられました。2人の女子中学生は「広島での平和学習で戦争は悲惨なことだと学んだ。安倍総理が9条を変えようとするのはやめてほしい」と話しました。

9条改憲が自衛隊の海外派兵につながるの訴えを聞き署名した大学生は「熊本地震の救援にあこがれ自衛隊員になった友達に危ないところに行ってほしくない。自分たち若い世代ももっと積極的にかかわらないといけない」と語りました。

衆院憲法審査会 「自由討議」での自民党改憲案提示を許すな!

緊急行動の呼びかけ

立憲野党の衆議院憲法審査会委員に激励のFAXを!

2019年11月11日

戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

日頃の、安倍9条改憲NO!の活動に心より敬意を表します。

安倍首相は、「必ずや憲法改正を成し遂げる」「衆参両院で第一党の自民党が憲法審査会で強いリーダーシップを発揮すべきだ」などと述べ、自民党は、今国会の憲法審査会で、改憲手続法改正案を成立させて、次は自民党4項目改憲案の審議に突入することを狙っています。

今週木曜日(11月14日)に、衆議院憲法審査会が開かれるのか、開かれるとして何を議題とするのか、きわめて緊迫した情勢となっています。

今、安易に憲法審査会を開催して、改憲手続法を成立させ、自由討議を許すことは、安倍改憲を前に進めることに手を貸すことになりかねません。総がかり行動実行委員会は、本年10月18日付の声明にあるとおり、「安倍改憲のための憲法審査会の始動を許してはならない」と訴えています。

立憲野党は、「憲法審査会で安倍改憲項目の提示を絶対に許さない」の立場で頑張っています。7日の憲法審査会でも、立憲野党の委員らから、「国民は改憲を望んでいない」「憲法尊重擁護義務を負っている国会議員が改憲論議を主導するべきではない。」など正当な主張を展開しています。改憲派が圧倒的多数を占める憲法審査会の中で、頑張っている立憲野党の各委員に、励ましのFAXを寄せてください。以上、緊急の行動を呼びかけます。

(激励のFAX送付先) 衆議院憲法審査会・立憲野党の委員のお名前とFAX番号
FAX番号(いずれも東京03です)

奥野 総一郎	おくの そういちろう	立国社	3508-3526
山花 郁夫	やまはな いくお	立国社	3508-3894
逢坂 誠二	おおさか せいじ	立国社	3508-3947
源馬 謙太郎	げんま けんたろう	立国社	3508-3710
近藤 昭一	こんどう しょういち	立国社	3508-3882
隋 猛	しな たけし	立国社	3508-3824
玉木 雄一郎	たまき ゆういちろう	立国社	3508-3213
辻元 清美	つじもと きよみ	立国社	3508-3855
照屋 寛徳	てるや かんとく	立国社	3508-3849
中川 正春	なかがわ まさはる	立国社	3508-3428
古川 元久	ふるかわ もとひさ	立国社	3597-2758
前原 誠司	まえはら せいじ	立国社	3592-6696
道下 大樹	みちした 大樹	立国社	3508-3946
本多 平直	ほんだ ひらなお	立国社	3508-3636
山尾 志桜里	やまお しおり	立国社	3508-3365
赤嶺 政賢	あかみね せいけん	共産	3508-3626
本村 伸子	もとむら のぶこ	共産	3508-3730